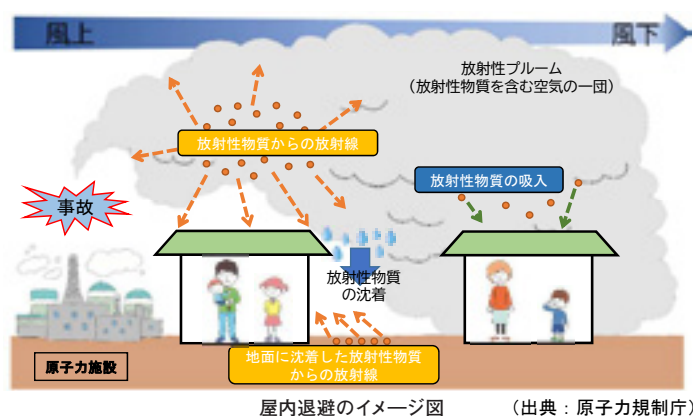




2 原子力災害対策指針について
原子力規制庁
放射線防護企画課
中野原子力防災専門職

この指針は福島第一原子力発電事故の教訓を踏まえ、原子力災害対策重点区域の設定や緊急事態における判断基準を導入し、原子力災害対策を円滑に実施するために定められた。区域の設定や判断基準などが導入されたことにより、住民の避難や一時移転、屋内退避など、避難措置の判断が可能となった。

3 2号機 原子炉建屋1階における火災の原因と対策について
中部電力(株)

原因はエアージェラインダーの動力源である圧縮空気に含まれる潤滑油が耐火シートに付着し、グラインダーの火花により着火したと推定。

対策として、火花が当たる箇所は金属板で防火養生することなどとした。

視察研修

文教厚生委員会視察研修

視察日 令和7年5月14日(水)

5月15日(木)

視察先及び内容

(1) 病院経営について

(山形県公立置賜総合病院)
公立置賜総合病院は、2市2町と県で構成する「置賜広域病院企業団」が設置運営をしています。平成29年に企業団として病院を再編しました。

高度・救命医療を公立置賜総合病院が行い、初期医療や慢性期の治療を各市町で開院しているサテライト病院で行います。総合病院は、置賜地域で唯一の救命救急センターを持ち、地域がん診療連携拠点病院や災害拠点病院としての役割を担っています。市立病院から企業団が運営する公立病院として再編した経緯や再編するうえでの問題点などを伺い、総合病院とサテライト病院の連携について説明いただきました。

(2) サテライト病院について

(山形県公立置賜長井病院)

公立置賜長井病院は、基幹病院である公立置賜総合病院と機能分担を図りながら、サテライト病院として長井市や西置賜地域の医療を支えています。平成12年以前は長井市立総合病院として開院していました。病院再編により463床あった病床数を削減し、現在は50床の病床数となりました。12の外来診療科と透視部門を有しており、地域の医療を担っています。



公立置賜長井病院で病院長から説明を受ける議員



公立置賜総合病院を見学する議員